

Sakuragaoka 桜が丘小地域

キャッチフレーズ

笑顔とお節介で、心に安らぎを咲かすまち “桜が丘” さくらがおか

現状 1 地域の現況と人口推計

(1) 位置と地勢

市の南西部に位置する桜が丘小地域には、川西市役所などの公共施設や医療施設、商業施設が集積しています。

東西には阪急電鉄宝塚線、南北には県道川西篠山線が通っています。

西側の丘陵には閑静な住宅地が連なり、清和源氏ゆかりの満願寺もその区域に含んでいます。



(2) 人口と世帯

人口は、平成 17 年の 8,419 人から平成 22 年の 8,369 人まで 5 年間で 0.6%減少しました（全市では、0.1%増加しています）。

年齢別人口割合は、35～39 歳が最も多く、続いて 60～64 歳が多くなっています。【左下図】

世帯数は、平成 18 年が 4,215 世帯、平成 23 年が 4,401 世帯と 5 年間で 4.4%増加しています（全市では 6%増加しています）。

地域の将来人口を推計すると、10 年後の平成 34 年にはおおむね 8,000 人となり、6%ほど少なくなる可能性があります。【右下図】



めざす地域像

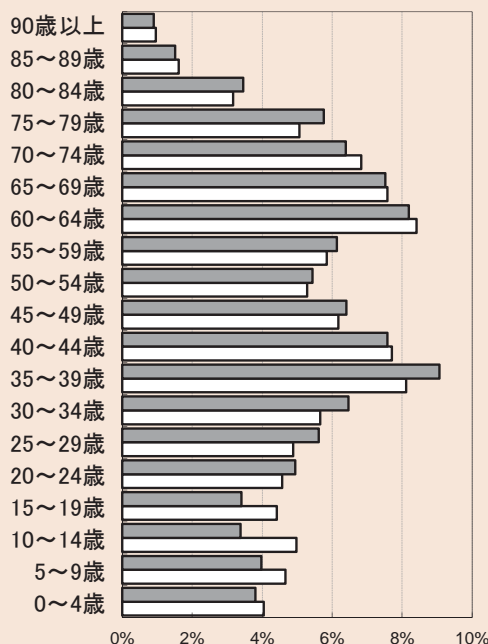
桜が丘小地域は、川西市の玄関口にあたり、商業施設、公共施設が集積し、交通ターミナル機能を備えています。

あわせて、駅周辺には中高層住宅、その周辺には戸建て住宅が建ち並び、利便性の高い地域となっています。

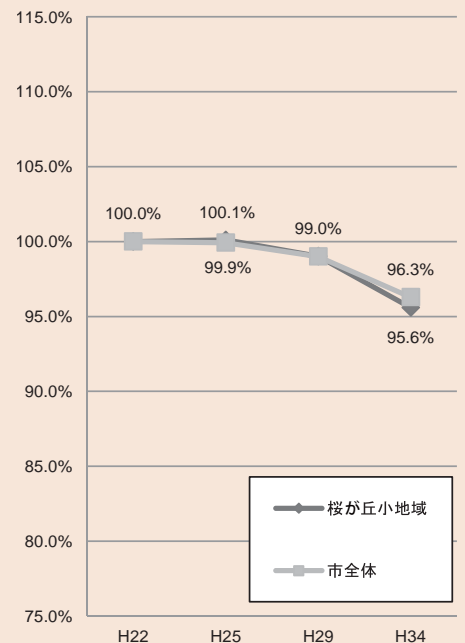
また、都市的な魅力以外に満願寺や栄根寺廃寺遺跡などの誇れる観光資源があり、地域の心の財産となっています。

今後は、対話と思いやりで絆を深め、世代を超えたつながりとおせっかいをテーマに、笑顔あふれる安全安心のまちを築きます。

人口構成



将来人口推計



人口全体を母数とする割合で表示

(住民基本台帳ベース)

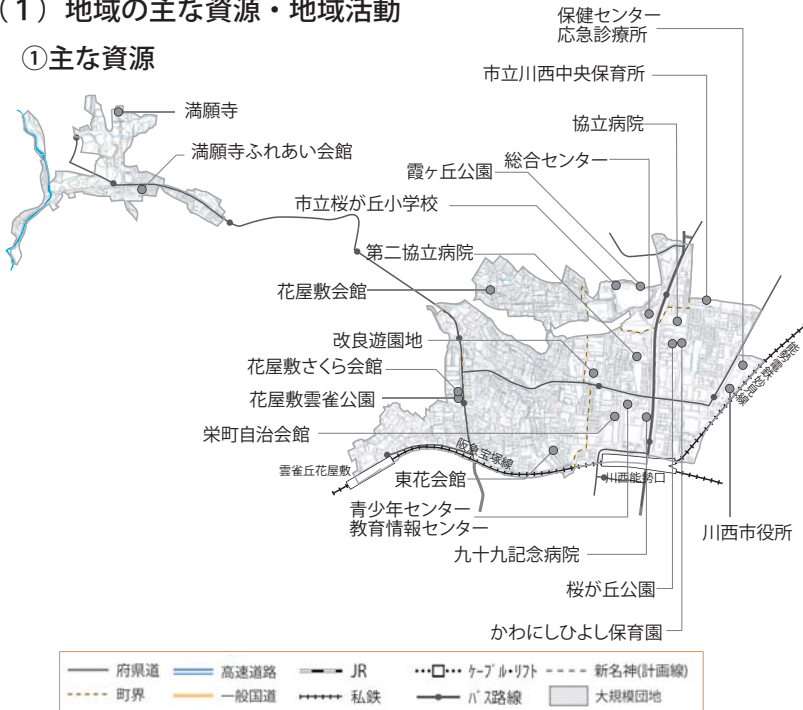
上段：桜が丘小地域 下段：市全体

(H23 住民基本台帳)

現状 2 地域の主な資源・地域活動と意識

(1) 地域の主な資源・地域活動

① 主な資源



② 主な地域活動

- ・ 男の料理教室
- ・ ふれあい喫茶
- ・ 高齢者雑談会
- ・ 障がい者のボランティアに参加
- ・ 昔の遊び
- ・ ふれあい秋祭り
- ・ 満願寺での大晦日甘酒振る舞い
- ・ 防災活動で火の用心
- ・ 栄根寺の掃除ボランティア
- ・ 子育て広場、育児相談
- ・ 朝のラジオ体操

(2) 市民意識調査 (桜が丘小地域集計)

① 定住意向

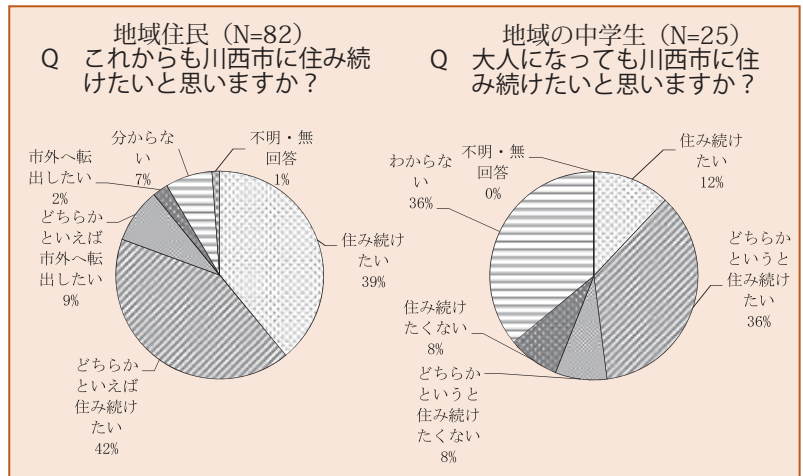
「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」と答えた地域住民は、81%となっています。

一方で、中学生は 48% となりました。

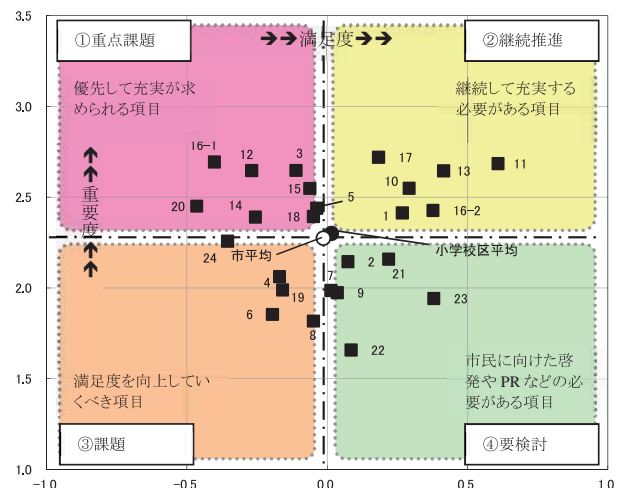
② 施策の重要度・満足度

重点課題として「交通施設の整備」「高齢者の支援」「公園・みどりの整備」が挙げられています。

また、継続推進すべきこととして「省資源・リサイクル」、「防災力の向上」が挙げられています。



① 重点課題	② 継続推進
3. 高齢者の支援	1. 健康づくりの支援
5. 子育て支援	10. 環境の保全
12. 公園・みどりの整備	11. 省資源・リサイクル
14. 都市計画の推進	13. 上水道の安定供給
15. 市街地整備	16-2. 公共交通の利便性向上
16-1. 交通施設の整備	17. 防災力の向上
18. 生活安全の推進	
20. 労働環境の向上	
③ 課題	④ 要検討
4. 障がい者の支援	2. 地域福祉の推進
6. 低所得者福祉	7. 学校教育環境の整備
8. 青少年の育成	9. 生涯学習・文化の振興
19. 産業の振興	21. 観光の振興
24. 効率的な行財政の運営	22. 共感・共生のまちづくり
	23. 参画と協働のまちづくりの推進



地域の課題とありたい姿

地域別懇談会で議論された主な内容

地域別懇談会のワークショップで議論された意見をもとに、桜が丘小地域のありたい姿と課題を生活のテーマ（第5次総合計画における「暮らし」「安全安心」「生きがい」「つながり」の4つ）に整理・集約すると、次のようになります。

暮らし

◆…主な課題…◆

- ・ 阪急電鉄雲雀丘花屋敷駅の川西側の整備など駅周辺整備、車いすやベビーカーでも安心して外出できる歩道の整備が必要である

◆…地域のありたい姿…◆

- ・ 歩道や駅が整備され、誰もが安心して暮らせる環境のあるまちにしたい
- ・ 子どもたちが球技をできるような場や多目的公園があるまちにしたい

安全安心

◆…主な課題…◆

- ・ 高齢者の増加に伴い、単身者の孤立や日常の困難に対して、声かけや見守りが必要である
- ・ 空き家が増え、道が暗いため、夜道の照明の確保や、災害時の避難路の確保が必要である
- ・ 残っている自然や緑を守っていく必要がある
- ・ ゴミ分別やあいさつなどの地域のマナーを向上させる必要がある

◆…地域のありたい姿…◆

- ・ 空気の良さや夜景の美しさ、四季の移ろいを感じることができる自然環境などを誇りに感じられるまちにしたい
- ・ 高齢や一人暮らしになっても住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、互いに支えあうまちにしたい
- ・ 人と人とのふれあいのマナー、公共空間でのマナーなど、マナーを守りお互いが注意できるまちにしたい
- ・ 日ごろから、空き家の管理についての対策や、防災・防犯のための見守りや声かけなどの取り組みが行われているまちにしたい

生きがい

◆…主な課題…◆

- ・ 子どもと地域の大人との交流会や催しで顔見知りになることが必要である
- ・ 子どもが健やかに成長するための空間や機会が必要である

◆…地域のありたい姿…◆

- ・ 子どもが安心して暮らせるよう地域参加の子育てができるまちにしたい
- ・ 身近な自然や地域の伝統にふれることができるまちにしたい

つながり

◆…主な課題…◆

- ・近隣住民の関係や世代間の交流、地域内の新旧住民の交流、複数のコミュニティ間の関係など、様々なレベルでのつながりづくりが必要である
- ・地域活動への参加者が減少しているため、地域の問題を共有するための話し合いの場が必要である
- ・団体の活動の担い手不在への対応や団体の役割の明確化、活動を推進するリーダーの確保が必要である
- ・地域の活動の拠点や気軽に集まることのできる場所が必要である

◆…地域のありたい姿…◆

- ・祭りや地域活動への参加を通じてお互いが顔見知りのまちにしたい
- ・住民の交流の場を設け、会話の多い笑顔で楽しく暮らせるまちにしたい
- ・その場に行けば誰か相手がいる、皆が集える居場所のあるまちにしたい
- ・子どもから高齢者、障がい者まで誰もがそれぞれの力を生かした役割づくり、社会参加ができるまちにしたい

地域のありたい姿を実現するための取り組み 地域別懇談会で検討された主な内容

地域別懇談会のワークショップで議論された、桜が丘小地域のありたい姿を実現するための地域の取り組み内容を整理すると、次のようになります。

暮らし

- ・宅配をしてくれる商店の開拓
- ・地域活性化のために、地元での買い物を心がける
- ・スポーツクラブ 21* の健康体操を地域で実施（3か月に1回）

安全安心

- ・ボランティアなどの福祉活動を担える人材の発掘と活用
- ・自治会などによる声かけや見回り活動、話し合いの場づくり
- ・地域包括支援センター* と連携した連絡体制づくり
- ・防犯パトロールの実施

生きがい

- ・団塊世代の集う場を設け、それぞれのキャリア、専門性、趣味、思いを地域社会に役立たせる方法を話し合う

つながり

- ・子どもからお年寄りまで参加自由の自治会サポータークラブづくり
- ・若い人に負担の少ない自治会の役割分担の検討と未加入者への加入の働きかけ
- ・自治会や地区福祉委員会、ボランティア活動を一層活発にする
- ・地元の商店や事業者、様々な団体間のネットワークづくり
- ・地域行事の情報を互いに教え合う

市の主な関連する施策(参考)

- ・施策 2 道路や橋りょうの安全性・機能性を高めます
- ・施策 4 公園を利用しやすくします
- ・施策 11 商工業を振興します
- ・施策 16 文化・スポーツを通して、市民が輝く環境づくりを進めます
- ・施策 20 地域福祉活動の支援と促進を図ります
- ・施策 21 高齢者に必要なサービスを提供するとともに、要介護状態を予防・改善します
- ・施策 27 生活安全の向上を図ります
- ・施策 28 豊かな自然環境を次世代へ継承します
- ・施策 29 快適な生活環境を守ります
- ・施策 31 子どもの健やかな育ちを実現します
- ・施策 32 明るく楽しい子育てを支援します
- ・施策 39 市民の学びを通して地域社会を支えます
- ・施策 44 市民公益活動の発展に向けた取り組みを支援します